

dB10 取扱説明書・保証書

Passive
Direct Box



dbx

PROFESSIONAL PRODUCTS

製品の特長

dB10は、プロフェッショナル用のオーディオ・ツールを30年以上にわたって手がけてきたdbxが、満を持して発表するダイレクト・ボックスです。厳選されたパーツから生まれるサウンドは、限りなくクリアで上質。使いやすさを考えて搭載された機能は、プロの現場に即応できる高い能力を備えています。

◎クリアな音質

- ・dbxが独自に開発したトランス
ミューメタルでシールドを施し、電磁波や磁気に対するシールドを強化
- ・優れたノイズ除去能力
- ・金メッキを施したNEUTRIK製の出力コネクター

◎プロの現場に即応する機能

- ・グラウンドリフトスイッチ
- ・3段階切り替えのパッドスイッチ
楽器用/ライン用/スピーカー出力用
- ・極性反転スイッチ
- ・ローパスフィルター

◎優れた耐久性

- ・铸造した金属のシャーシ
- ・きずの付きにくい粉体塗装
- ・アクシデントによるダメージを最小限度に抑える耐衝撃設計

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
この取扱説明書は、お読みになった後も、いつでも見られるところに保管してください。

安全にお使いいただくために

危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- 水に入れたり、ぬらさないでください。正常に動かないばかりでなく、火災や感電の原因になります。
- 万一、落下等で筐体を破損した場合や動作に以上があると思われるときは、直ちに使用を中止し、修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災の原因となります。
- 煙がでる、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常がある時は、ただちに修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。お客様が保守できる部品は、内部にはありません。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災の原因となります。



注意

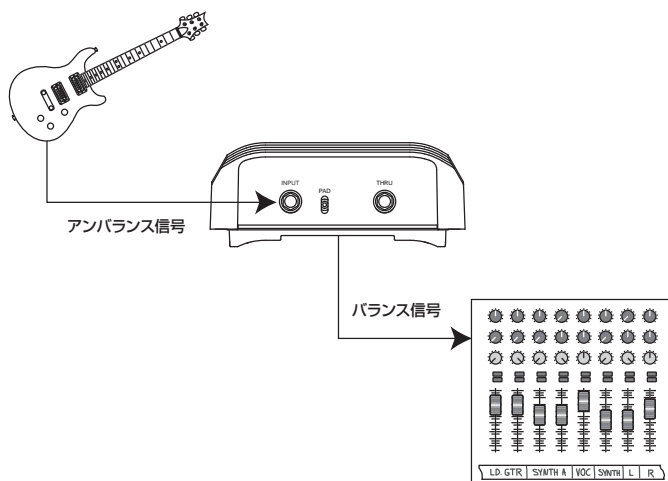
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

- 以下のような場所に設置しないでください。
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・湿度の多い場所
 - ・振動の多い場所
 - ・温度の特に高い場所、または低い場所
 - ・ほこりの多い場所
- 電源コード、プラグ、コンセントなど、歩行の邪魔にならないようにしてください。
- 乾いた布で掃除してください。

ダイレクトボックスの主要な機能

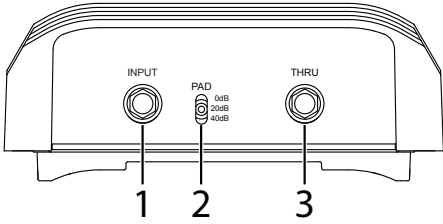
ダイレクトボックスとはエレキギターのようなアンバランス機器からの信号をバランス信号に変換し、アンバランス信号で推奨されているよりも長い距離の信号伝送を可能にする機器です。以下に記載するバランス変換による低ノイズ性能、インピーダンス変換による伝送の安定化、電気的な分離によるノイズの抑制、の3つの理由からノイズの少ない、安定した信号伝送を実現します。

- ① バランス信号に変換することでノイズ成分を除去し、クリアな信号伝送を実現します。バランス信号はケーブルに同相信号を+と-の2本に流します。ミキシングコンソールのマイクプリアンプ部ではこの2つの信号の利得と差動の比からノイズ成分(同相ノイズ)を検出して除去します。このノイズの除去能力はデシベルで測定され、「同相信号除去比(CMRR)」として表され、数値が高いほどノイズの除去能力が高いことを示します。
- ② ハイインピーダンス出力(例えばパッシブピックアップを搭載したエレキギターなど)をローインピーダンス出力に変換します。ハイインピーダンスで駆動しているケーブルはローインピーダンスで駆動しているときに比べ信号のロス及びノイズの影響を受けやすくなります。ローインピーダンスで駆動することで安定した信号の伝送を実現します。
- ③ ダイレクトボックスの中心部には絶縁トランスがあり、接続した機器間は電気的に分離しています。これはグラウンドループが要因となるハム/バズノイズを抑制する効果があります。



各部の名称とはたらき

フロントパネル



1. 入力端子

標準フォーンジャック (3P) の入力端子です。エレキギターなどの音源を接続します。

2. パッドスイッチ

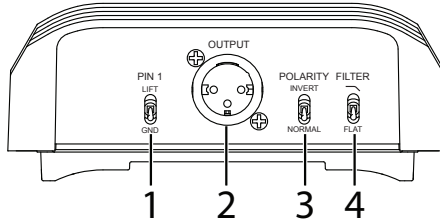
入力信号を 0dB/20dB/40dB で減衰します。接続する機器に応じて設定を行ってください。

- 0dB: ギター、ベース、キーボードなどの電子楽器
- 20dB: プロ用機器などのライン出力
- 40dB: ギターアンプなどのスピーカー出力

3. THRU 端子

標準フォーンジャック (3P) の THRU 端子です。入力端子に入力された信号がそのまま出力されます。

リアパネル



1. グラウンドスイッチ

LIFT にするとピン 1 のグラウンド接続が切り離されます。ハムノイズやバズノイズが出たとき設定してください。

2. 出力端子

XLR 端子の出力端子です。ミキサーの入力に接続します。

3. 極性反転スイッチ

出力端子の極性を切り替えます。

- INVERT: 3 番ピンが HOT になります。
- NORMAL: 2 番ピンが HOT になります。

4. ローパスフィルター

"—" の位置でローカットフィルターが動作します。

※パッドスイッチは必ず 40dB にセットしてください。

仕様

入力

チャンネル数1
端子標準フォーンジャック(3P)
形式アンバランス、RFフィルター
パッド0/20/40dB 3段階切り替え
ローパスフィルター(40dBパッド時のみ使用可)
6kHz、スイッチ式
最大レベル
0dB+33dBu
-20dB+33dBu
-40dB+33dBu
インピーダンス
0dB80kΩ(600Ω負荷)
270kΩ(2kΩ負荷)
13MΩ(100kΩ負荷)
-20dB65kΩ
-40dB70kΩ

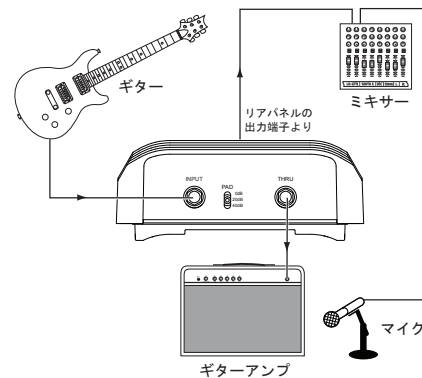
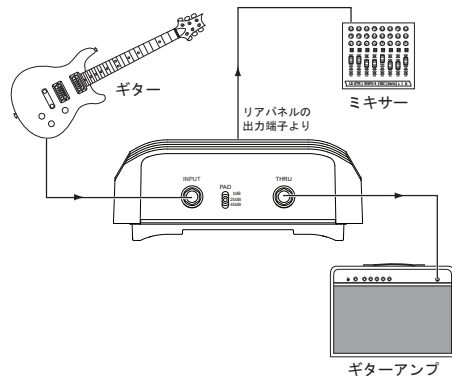
出力

チャンネル数2(メイン出力:1, Thru:1)
端子メイン出力:XLRオス、2HOT
Thru:標準フォーンジャック(3P)
形式メイン出力:バランス
Thru:アンバランス
メイン出力インピーダンス600Ω、バランス
メイン出力CMRR
60Hz128dB
1kHz104dB
10kHz98dB
極性ノーマル/逆相、スイッチ式
周波数帯域20Hz~20kHz(±0.1dB)
周波数特性<10Hz~80kHz、-3dB
THD+N0.003%@50Hz、0dBu
0.002%@1kHz、0dBu
0.002%@10kHz、0dBu
グラウンドグラウンド/リフト、スイッチ式
寸法(W×H×D)138×56×148mm
質量0.7kg

接続の仕方

例 1) ギターの信号をアンプとミキサーに送る場合

例 2) ギター信号とアンプから収録した信号をミキサーに送る場合



極性反転スイッチ、パッドスイッチ、ローパスフィルターの使い方

極性反転スイッチ

極性反転スイッチはダイレクトボックスを主にスプリッターとして使用する場合に使います。分岐された信号はステレオ信号としてミキサーの2つのチャンネルに入力されます。極性反転スイッチを切り替えると、2つの信号間の位相が反転し、音色がかなり変わりますので使用している環境に応じて設定を行ってください。

一般的な接続方法は、ギターをダイレクトボックスの入力に直接接続し、ダイレクトボックスの THRU 端子からの信号をギターアンプに接続します。その後、ギターアンプの前にマイクロホンを配置し、マイクロホンで収録した信号をミキサーの入力チャンネルに接続する、もしくはギターアンプにダイレクトアウトが搭載されている場合はダイレクトアウトからミキサーの入力チャンネルに直接接続します。最後にダイレクトボックス背面にある出力端子からの信号をミキサーの2チャンネル目に入力し、出音の状況で極性反転スイッチの ON/OFF を選択します。ギターアンプの出力をマイクロホンで収録している場合は、マイクロホンとギターアンプの位置も2つの信号の位相関係に影響を与えますのでご注意ください。

パッドスイッチ / ローパスフィルター

ギターアンプの出力をマイクロホンで収録する場合、ギターアンプのスピーカーは高域の出力が少なく、マイクロホンも高い音圧状態の中での収録になるため、高域の収録が弱くなります。つまり、ギターアンプのマイクロホンでの収録は高域の周波数がかなり抑制された状態になります。

パッドスイッチは 0dB にしているときは信号がダイレクトに入力回路に入力される状態で、20dB、40dB にすると、入力信号を 20dB、40dB 減衰した状態で入力回路に入力します。ギターアンプのダイレクトアウトまたはパワーアンプのスピーカー出力からダイレクトボックスに入力する場合は信号レベルが高いため 40dB パッドに設定してください。ローパスフィルターは 40dB パッド設定時のみ有効になります。アンプ出力、スピーカー出力からの信号は高域の周波数成分が多く残っています。ローパスフィルターで高域の周波数をカットすることで耳障りな状態が無くなり、アンプの前にマイクロホンを置いて収録した時のような自然な音色に整えます。

※パワーアンプ出力を使用する場合は、最大出力レベルを仕様でご確認のうえ、正しく設定を行ってください。

dbx は A Harman International Company のブランドです。その他、こちらの取扱説明書に記載されている商品名、会社名等は、その会社の登録商標または商標です。

2008年6月版



ヒビノ株式会社 ヒビノプロオーディオセールス Div.

営業部
〒108-0075 東京都港区港南3-5-12
TEL: 03-5783-3110 FAX: 03-5783-3111
北海道オフィス
〒063-0813 北海道札幌市西区琴似三条1-1-20
TEL: 011-640-6770 FAX: 011-640-6776

大阪プランチ
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町18-8
TEL: 06-6339-3890 FAX: 06-6339-3891
名古屋オフィス
〒465-0093 愛知県名古屋市中東区一社3-143
TEL: 052-702-6312 FAX: 052-702-6318

福岡プランチ
〒812-0042 福岡県福岡市博多区豊1-5-24
TEL: 092-475-2555 FAX: 092-482-4535

http://www.hibino.co.jp/
E-mail: proaudiosales@hibino.co.jp